

# CASBEE® 建築物総合環境計画概要書 新築

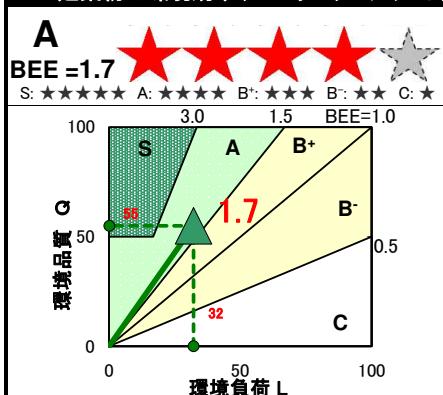
■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

## 1-1 建物概要

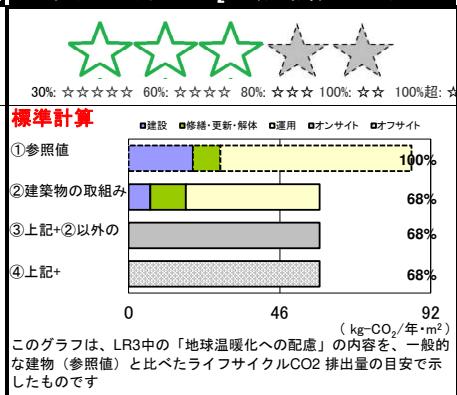
建物名称	(仮称)大阪市北区中津一丁目計画	
建設地	北区中津1丁目	
建築用途	共同住宅	
建築主		
設計者		
敷地面積	1,706.47	m <sup>2</sup>
建築面積	739.51	m <sup>2</sup>
延床面積	19,586.53	m <sup>2</sup>
構造/階数	RC造	/ 地上36階
完了年(予定)	2025年10月	

## 1-2 外観

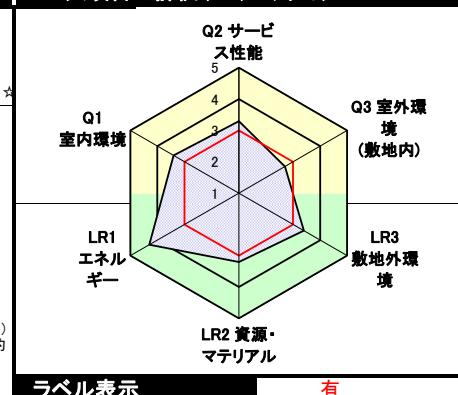
## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



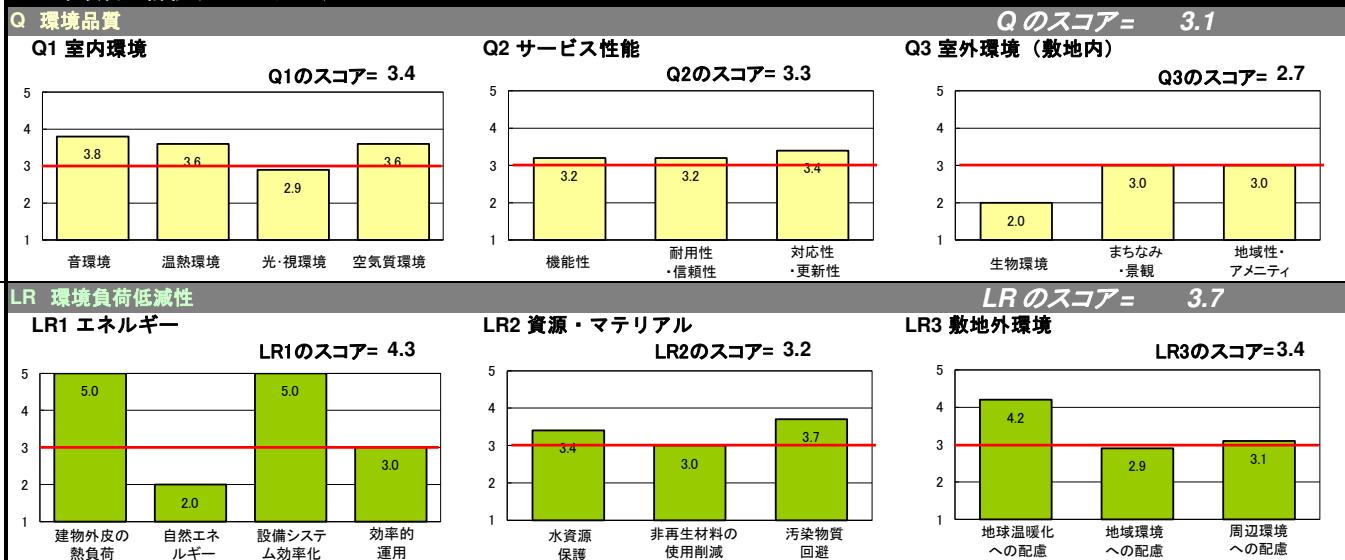
## 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



## 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



## 2-4 中項目の評価(バーチャート)



## 3 設計上の配慮事項

<b>総合</b> 省エネ機器に配慮した (LED照明)。	<b>その他</b> 防災に配慮した。
<b>Q1 室内環境</b> 遮音性の高いサッシュを採用し、住戸間の壁の遮音性能を高くし音環境を向上させた。又ホルムアルデヒドの発散を抑制したF☆☆☆☆建材の採用により空気質環境を向上させた。	<b>Q2 サービス性能</b> 住居部分の階高を3250~3650と高くし対応性、更新性を向上させた。
<b>LR1 エネルギー</b> エナファームやLED照明の採用により設備システムの効率化を図った。又住戸の外気に面する床、壁、屋根には高い断熱性を有する工法とし、外皮の熱負荷抑制を図っている。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 敷地周辺の写真に建物の完成予想図を合成させて、まちなみとの調和を検討し、まちなみ、景観へ配慮した。

<b>Q1 室内環境</b> 遮音性の高いサッシュを採用し、住戸間の壁の遮音性能を高くし音環境を向上させた。又ホルムアルデヒドの発散を抑制したF☆☆☆☆建材の採用により空気質環境を向上させた。	<b>Q2 サービス性能</b> 住居部分の階高を3250~3650と高くし対応性、更新性を向上させた。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 敷地周辺の写真に建物の完成予想図を合成させて、まちなみとの調和を検討し、まちなみ、景観へ配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> エナファームやLED照明の採用により設備システムの効率化を図った。又住戸の外気に面する床、壁、屋根には高い断熱性を有する工法とし、外皮の熱負荷抑制を図っている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> オゾン層破壊係数や地球温暖化係数が極めて小さい断熱材の採用により汚染物質含有材料の使用回避を図っている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 省エネルギー化や転体の長寿命により、ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量を抑制して、地球温暖化に配慮している。

# 建築物環境性能表示 結果 [重点評価]

総合評価BEE = 1.7

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR3/ 1 / / 地球温暖化への配慮	4.2
CO2排出率を低減した。	
配慮事項	CO2排出率を低減した。

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	
Q3 / 1 / / 生物環境の保全と創出	2.0
特になし。	
Q3 / 3 / 3.2 / 敷地内温熱環境の向上	3.0
特になし。	
LR3/ 2 / 2.2 / 温熱環境悪化の改善	3.0
特になし。	
配慮事項	特になし。

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR1/ 1 / / 建物の熱負荷抑制	5.0
日本住宅性能表示基準5-1断熱等性能等級4相当。	
配慮事項	日本住宅性能表示基準5-1断熱等性能等級4相当。

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR1/ 3 / / 設備システムの高効率化	5.0
省エネ機器を採用した。(LED照明及び給湯器)	
配慮事項	省エネ機器を採用した。(LED照明及び給湯器)

## 省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること  
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)  
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPIm]
外皮性能等級4を超える (相当)	-
建物全体[BEI][BEIm]	
一次エネルギー消費量	0.62
住宅部分[BEI]	0.62
非住宅部分[BEI][BEIm]	-